

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

むさしのパークライフマガジン

MPM
2024
VOL.
19

YOUR PARK LIFE : Park Life × おしごと
FOCUS : 都立公園ものしり Q&A

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きつと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思っ日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

ちょっと素敵な自然のこと、

いままで気づかなかった生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。



Park Life



おしごと

みなさんは公園をどんな目的で利用していますか？

木々の緑の美しさや小鳥のさえずりに癒されたい。
広々としたはらっぱでのびのびと遊びたい。
散歩やジョギングで健康を維持したい。
などなど。

でも、公園の役割はそれだけではありません。

都会の貴重な緑地として、生きものたちのすみかになったり、
イベントやレクリエーションで活用したり、
もしもの時の防災の拠点になったり。
多様化する利用者のニーズにも応えなくてはなりません。

そうしたさまざまな役割に対応するため、
公園にはいろいろなスペシャリストがいます。
その「おしごと」から、
公園の裏側をちょっとだけのぞいてみましょう！



人だけでなく、木々も鳥も虫も、
生きものみんなが
居心地のいい場所になるように。
日々がんばっている
公園スタッフのおしごとをご紹介します！

都立公園と武蔵野の公園パートナーズ

東京都が管理している都立公園は、都内に87箇所*あり、その役割は多岐におよびます。
住民の健康づくりや癒し、レクリエーションの場などの「憩いの場」としての役割のほかにも、宅地の
密集を防ぎ緑地を確保する「グリーンインフラ」としての役割や、「災害時の避難場所」としての役割など。
そのためすべての人が安心して暮らせるように、一定の範囲に都立公園が配置されています。

私たち武蔵野の公園パートナーズは、武蔵野周辺の都立公園7箇所の管理を行っています。各公園には
それぞれ、その地域や公園の特性に合わせた目標があり、「地域との連携を強化する」「生態系を守る」
「災害への対応を充実させる」などのテーマに合わせて柔軟な活動をしています。

*庭園・水族館・動物園を含む

維持管理



稲垣美佐

中学校の頃から木が大好きでとても興味がありました。公園のお仕事はたくさんの種類の木と間近で触れあえます。自然を感じられることが楽しいです。



「きれいにしてくれてありがとう」など、感謝の言葉には励まされます！



門松は竹林整備の発生材を活用して維持管理スタッフが手作り！



暑い夏の日芝刈りや草刈りは大変！

特にお願いしたいこと

公園には樹齢の長い大きな木がたくさんあります。けれど木登りをするや枝が折れるなどして危険だけでなく、木も弱ってしまいます。みなさんの安全のためと木の保護のためにも木登りはやめましょう。

だれもが居心地よく過ごせるような公園を目指しています！

樹木の管理や、花壇や芝生の整備、トイレの清掃や建物の維持など、公園の景観と衛生を担っているのが維持管理のスタッフです。利用者の安全と景観の良さのバランスを考えながら樹木の剪定をしているそうですが、「自然と安全を両立させるのは難しいこともあります」というのは担当の稲垣美佐さん。また、運動施設や遊具、建物やトイレに関しては、「子どもからお年寄り、障がいのある方までみんなが快適に使ってほしいので、ルールは守って利用しましょう」とのことです。

豊富な知識で、貴重な自然を未来に残せるよう活動をしています！

公園の自然と利用者の架け橋になるのがパークレンジャー。利用者の安全を守りつつ、生態系を維持するため整備し過ぎないようバランスを考えます。また、ガイドウォークなどのイベントでは、公園の生きものや生態系を観察する楽しさを伝える活動もしています。「人間も含めて、たくさんの生きものがお互いを支えあっているのが、生物多様性。どのピースが欠けても成り立ちません。むさしの都立公園にはまだまだ豊かな自然が残されています。それを未来の子どもたちにつないでいきたいですね」と齋田滉大さん。

パークレンジャー

行政で環境の仕事をしていましたが、現場を知りたくて公園管理の仕事を選びました！今は、とにかく楽しくて、毎日が充実しています。



齋田滉大



むさしの都立公園は、豊かな自然環境を残すための場所でもあるよ！



東京都の希少な生きものを守る活動もしています



公園の生きものつながりってすごいんだよ！

公園のボランティアに参加してみませんか？

外来種の除草をしたり、池の水の調査をするなどの自然保全活動は、地域のボランティアさんたちにご協力いただいています。公園づくりに参加すると、自然のことも地域のこともぐっつり詳しくなれますよ！

パークコーディネーター



実は、むさしの都立公園
近くの大学に通っていました。
子どもの頃から自然や公園が
大好きでした。



最首希咲

いくつものボランティアや
市民活動団体の力を合わせて開催する
浅間山公園の「キスゲフェスティバル」



みんなが楽しめる、公園の特徴に
合わせたイベントを開催します！



公園でやってみたいことを 教えてください

『「あったらいいな」をみんなでつくる
公園プロジェクト』では、地域のみ
なさんからのアイデアをもとに企画
を行います。去年は公園の近隣住民
の方からいただいたアイデアをもと
に未就学児向けの音楽イベントなど
も実現しました。お気軽にパークコー
ディネーターまでお声がけください。

公園をみんなの手で

もっと楽しい場所にしましょう！

パークコーディネーターは地域の人たちと公園をつないで、公園をもっと楽しく活
用してもらおう手伝いをしています。例えば、浅間山公園の恒例イベント「キスゲ
フェスティバル」では地元のボランティアの方々と協力し、写真展やワークショップ
を開催。浅間山の自然を大切にしながらみんなが楽しめるようなイベントになる
ようお手伝いをします。

また、大学のフィールドワーク、企業の社会貢献活動などの連携も行います。「さ
まざまな立場の方と協力して行う企画は大変でありながらもやりがいたっぷり」と、
最首希咲さん。

スポーツコーディネーター



三田 央

得意なスポーツはサッカー。
運動教室の子どもたちが公園で声を
かけてくれて、交流できたりするのは
うれしいですね。



ノルディックウォークは
健康づくりに最適



忍者教室は
大人も子どももノリノリで
汗びっしょり

公園でたくさん運動して

健康な体づくりを！

むさしの都立公園にはスポーツの専門スタッフが常駐し、公園内での運動や
健康づくりなどのアドバイスやサポートを行っています。定期的に行われるスポ
ーツ教室はキッズからシニアまで誰でも参加できる各種のプログラムがあり
ます。毎年開催される「チャレンジ★キャラバン」では、ヨガ教室やバラスポ
ーツの紹介、体操用器具を使った体の動かし方のレクチャー、忍者の修行に
みたてた運動をする「忍者教室」もあり、子どもたちに大人気。「始めは
動きがぎこちない子どもも徐々に上手になります」と三田央さん。

スポーツプログラムに 参加しよう！

定期的に行われるスポーツ教室は基本的
に手ぶらで参加できます。参加費は
数百円。子ども向け、大人向け、親
子向けなど、充実のプログラム。体
づくりに役立つ運動の基本をアドバ
イスしますので、ケガの予防にも。公
園のHPから予約できます。

防災教育コーディネーター



宮崎賢哉

子どもの時、阪神淡路大地震のボランティアに参加したことで、人の役に立つ仕事に就きたいと思い、福祉を学びました。その後、各地の水害や地震の際のボランティアを経験しました。

たくさんの人に真剣に取り組んでもらえるのは、やりがいを感じます。

防災グッズの使い方や避難所での過ごし方なども、イベントなら楽しい体験に！

防災には公園周辺の地域の人たちが協力し合えることが、大切です。



公園の災害対策設備を知ってこう

公園には、防災設備やその設置場所を詳しく解説した防災マップがあります。トイレが使えなくなった時に登場する非常用トイレや、災害時に無料で飲み物を提供してくれる自動販売機など、近所の公園にどんな設備があるのかチェックしてみましょう！

いざという時、みんなを助ける場所になります！

公園内の防災に関する教育や訓練、備蓄品や防災設備などの点検などを行っているのが、防災教育コーディネーターです。災害が起きた時、どのように行動したらいいのか、具体的な想定をしつつ、各公園のスタッフと勉強会や訓練などを行います。

特に六仙公園では、地域と行政、公園が共催する防災イベント「防災キャラバン」を毎年開催。「災害が起きた時に被害を最小限におさられるような備えをしておくことが大切。地域で楽しみながら防災について考えることはとても大きな備えになります」と宮崎賢哉さん。

イベントでは、海外の方にも公園の魅力アピール

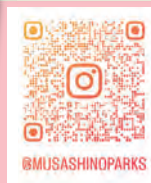


自分の子ども時代も、自分の子どもたちも、公園でたくさん遊びました。公園でステキな思い出づくりをしてほしいです。



望月真弓

Instagramには、公園の素敵なシーンがいっぱい



MUSASHINOPARKS

公園の楽しみ方をみんなで相談



イベントの参加者にノベルティーを配布

季節の美しさや公園の楽しさを発信！

園内で配布する地図や冊子の制作やメディアの対応など、公園の魅力を発信しています。2023年からはInstagramをスタートし、公園の最新情報を発信中。穴場の映えポイントの情報もあり「楽しんでいただけるように研究中です」と望月真弓さん。

また、公園の計画を決めるための「計画・実行・評価・改善」(PDCA)を進めることも役割の一つ。武蔵野の公園パートナーズが独自で開発した「パークモニタリングアプリ」を活用し、園内の施設や生きものの情報を蓄積。公園をより快適に利用してもらえるよう役立てています。

公園を楽しむための情報がいっぱい！

管理事務所には「レンジャーミニ図鑑」や「PLAYBOOK」など公園を楽しむヒントになるパンフレットがたくさんあります。点字マップや英語、中国語、韓国語の翻訳パンフレットなど、ユニバーサルデザインにも対応しています。

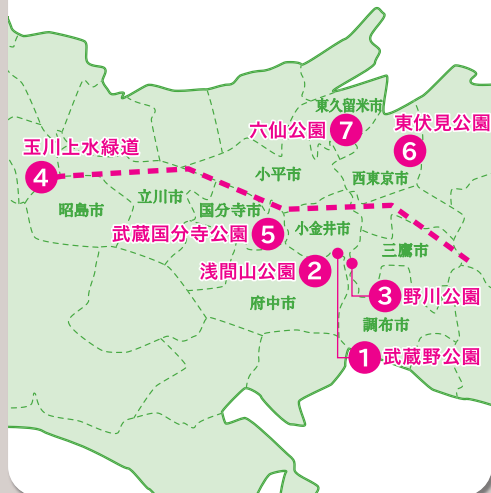


むさしの都立公園を
もっと知って
いっぱい活用しよう!

都立公園ものしり Q&A

Q1. むさしのの都立公園って？

武蔵野エリアにある6つの都立公園と緑道1箇所を加えた7箇所のことを言います。



Q2. 誰が管理しているの？

都立公園は東京都が所有する公園ですが、指定管理者制度のもと、民間の事業者がそれぞれのノウハウを活用して、もっと楽しく公園を利用してもらえるよう工夫をしています。
むさしのの都立公園は4つの団体が「武蔵野の公園パートナーズ」というチームを結成して、公園を守っています。

代表企業
西武造園(株)
造園管理

ミズノ
スポーツ
サービス(株)
地域スポーツ振興

チーム力 UP!

NPO法人
NPO birth
環境保全・地域連携

(一社)
防災教育普及協会
防災学習・訓練

Q3. どんな公園？

東京都の都市部と丘陵地の間にあって、都市部で失われつつあるのどかで安らぎを感じる自然環境を持つ公園です。多くの動植物が生息し、緑と緑の間を移動できるグリーンベルトの役割も果たしています。また、武蔵野台地由来の自然豊かな地形は文化や芸術などを育み、美しい風景とともに歴史的資産を残す場所も多く持っています。
新しくなった武蔵野の公園パートナーズのロゴはそうした特徴と公園のたのしさをあらわしています。

音楽やレクリエーションなどのイベント活動♪

武蔵野の「M」!

浅間山に咲く希少種ムサシノキスゲ

湧き水を集めた野川の清流

美しい雑木林を残す国分寺崖線(はけ)

公園をたのしむ人たちの交流



Q4. どんなことをしているの？

地域の住民をはじめ学校や企業、行政と協力して、公園を使ったライフスタイルやコミュニティを広げていく「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を目指しています。



日本公園緑地協会主催「都市公園等コンクール」
2014年国土交通省都市局長賞受賞

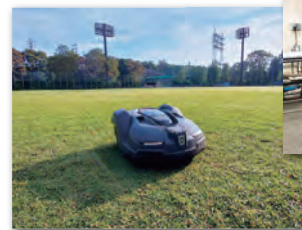
より多くの人たちと公園がつながっていく仕組みをつくり、公園を中心にした地域環境や住民の“健やかさ”に貢献するため「むさしのヘルシーパークプロジェクト」や「むさしのカレッジ」などの計画を進めています。

※「むさしのヘルシーパーク」は“心身の健康”“地域コミュニティの健康”“地球環境の健康”の三つのヘルシーを目指しています

Q5. 新しい取り組みは？

SDGsに取り組むことはもちろん、カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガスを削減し、蓄電もできるEV車を武蔵国分寺公園で導入しました。また、無人で芝刈りをしてくれる自動芝刈り機「オートモア」を採用し、効率的でキレイな芝高を維持できる上、CO2の削減にもつながっています。

自動芝刈り機「オートモア」
(武蔵野公園)



EV車充電中!

TOKYO PARK 150th ANNIVERSARY

— REPORT —



令和5年度は、明治6年(1873)の太政官布達によって公園制度が始まり、東京に初めて公園が設置されてから150年という記念の年でした。

都立公園は、大都市東京における貴重なオープンスペースであり、憩いの場、緑を育む環境保全の場を制度として設け、時代ごとにその役割を変えながら、誰もが自由に利用できる場所として機能してきました。

都内87箇所の都立公園・庭園・水族館・動植物園では、これまでの歴史を振り返り、新たなムーブメントを未来につなげていくイベントがたくさん開催されました。



都立公園開園150周年記念樹の桜の木

むさしのの都立公園でも、「みんなで公園お花を育てる日和」で花壇の整備をしたり、「みんなで公園フィットネス日和」ではノルディックウォーキングやストレッチなどをスポーツコーディネーターと一緒に行いました。「みんなで公園読書日和」ではパークレンジャーおすすめの本の紹介展示などもしました。他にも年間を通して、季節ごとにたのしいイベントを開催。

令和5年10月20日には、「都立公園開園150周年記念事業」の一環として、武蔵野公園の正面広場脇に、桜の木が移植されました。桜の季節はもちろん、新緑、桜紅葉とみなさんに見守っていただいて、次の200年記念につなげていけたらいいですね。



「みんなで公園お花を育てる日和」で花壇づくり



「公園めぐりデジタルスタンプラリー」を開催



桜のアートパネル

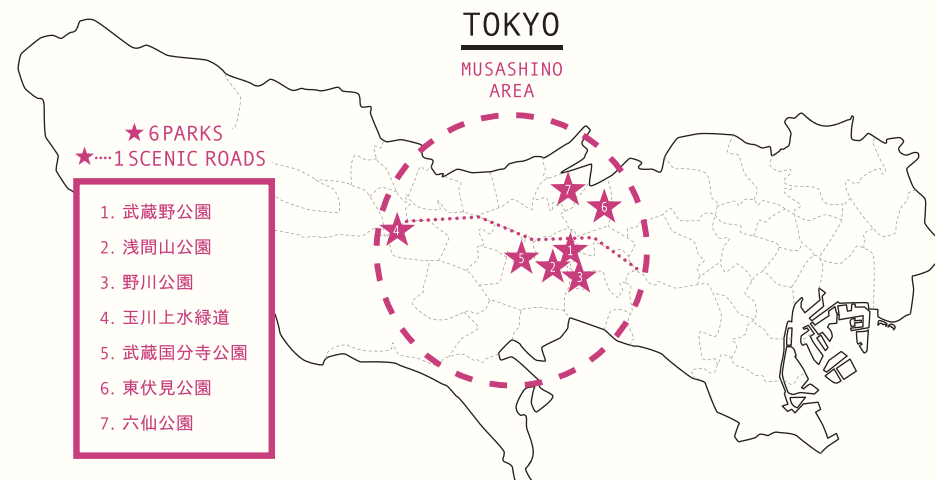
ABOUT

むさしのの都立公園

国分寺崖線や玉川上水など、水とみどり豊かな「武蔵野エリア」にある7つの都立公園です。指定管理者「武蔵野の公園パートナーズ」は「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに、武蔵野の自然と文化を大切にしながら、みなさんとともに、元気になる公園づくりをすすめています。

武蔵野の公園パートナーズ構成団体：

西武造園(株)・NPO法人NPO birth・ミズノスポーツサービス(株)・(一社)防災教育普及協会



発行：武蔵野の公園パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com>

発行日：2024年4月26日

写真：武蔵野の公園パートナーズ

デザイン：川上明子

文：芦谷日菜乃・鈴木佳子(はけの道編集室)

編集・製作：武蔵野の公園パートナーズ / はけの道編集室(合同会社ニーヨリー)

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真/都立武蔵野公園(撮影:吉野香織)

MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINEのバックナンバーは、むさしのの都立公園のHPで見ることができます。
<http://musashinoparks.com/magazine/>



MUSASHINO
PARK-LIFE
MAGAZINE

MUSASHINO PARKS PARTNERS

<http://musashinoparks.com>